

## 第2学年国語科学習指導案

日時 平成22年11月19日(金) 5校時

児童 2年3組 男18名 女15名 計33名

指導者 中村 さやか

### 研究課題

想像を広げながら読むことを楽しむ子どもを育てる授業

### 研究課題について(設定理由)

想像を広げながら読む力は、文章を読むことを楽しむために大切な力であると考えます。しかし、学級の実態として、言葉をもとに想像を広げることや友だちの考えを聞いたときにそれを自分なりに想像してみることが難しい子どもや、想像することができてもそれを言葉にして表現することが難しい子どもも見られる。

そこで、言葉をもとに想像する力と想像したことを自分の言葉で表現する力を合わせて育てていくことが必要であると考えました。そして、一人一人が想像を広げながら読む中で、友だちと考えを分かち合ったり、感じ方や考えを認め合ったりしながら読みの世界を広げる経験を通して、読むことを楽しむ子どもを育てていきたいと考え、本研究課題を設定しました。

### 1 単元名 ようすを考えて読もう

教材名 「お手紙」(光村図書 2年下)

### 2 単元について

#### (1) 児童観

子どもたちはこれまでに、物語文「ふきのとう」や「スイミー」において、場面や登場人物の様子について想像を広げながら読む学習を重ねてきている。その中で、①登場人物の行動に着目したり、大事な言葉を基に考えたりしながら想像を広げること、②想像したことを動作や音読の工夫、自分なりの言葉を使って表現すること、③友だちの考えを分かろうとしながら聞くことなどに取り組んできた。これまでの学習では、想像を広げて読むことや、友だちと話し合うことに楽しみながら取り組める子どもがいる反面、想像を広げながら読むことや想像したことを表現することに苦手意識をもつ子どももおり、個人差が大きい現状である。

読書については、絵本の読み聞かせだけでなく、挿絵を見せないお話でも集中して聞き、楽しむことのできる子どもが多い。また、自分で選んだ本を楽しみながら読める子どもも増えてきている。しかし、文字を読むことが苦手だったり、クイズや図鑑などにジャンルが偏ったりして、物語を読み進める楽しさを実感できていない子どもも見られる。

本単元を通して、想像を広げながら読む力を育てるとともに、物語を読む楽しさも味わわせていきたいと考える。

#### (2) 教材観

本単元で育てたい主となる能力は、新学習指導要領第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の内容にある「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」である。

教材文「お手紙」は、アーノルド＝ローベルの「ふたりシリーズ」の中の1編である。この「ふたりシリーズ」では、全20編にわたって、がまくんとかえるくんの微笑ましい関わりとあたたかい友情が繰り返し描かれている。シリーズの他のお話を合わせて読むことによって、物語の世界がより深まっていく作品である。

「お手紙」は、がまくんのためにかえるくんが出した手紙によって、二人が幸せな気持ちになるお話である。優しいタッチの表情豊かな挿絵や登場人物の人柄や行動を分かりやすく表す言葉、そして、テンポのよい会話をもとにした展開が、場面の様子の変化や登場人物の行動を把握する

手がかりになり、豊かに想像しながら読むことの助けにもなると考えられる。また、想像を広げながら読むことによって、登場人物の魅力を感じたり、作品の面白さを味わったりすることができる。と考える。

### (3) 指導観

第一次では、『がまくん・かえるくんシリーズ』のお話を作ろう。」という単元のゴールを示し、そのために「がまくん・かえるくんマップ」を作成していくことを確認して、学習意欲を高めたい。そして、教材文を読んだり、「ふたりシリーズ」を並行読書したりしながら、「がまくん・かえるくんマップ」を書き込んでいくことを知らせ、単元の流れや活動内容を把握させる。

第二次では、教材文「お手紙」を読み、1単位時間ごとに「がまくん・かえるくんマップ」を書き足していくようにする。学習した内容が単元のゴールにつながっていることを意識させながら指導していきたい。また、挿絵や言葉、行動、会話などをもとに、場面や登場人物の様子を想像することと、想像したことを動作や言葉で表現し学級全体でイメージを共有することなどを通して、物語の世界を深めるとともに、想像を広げながら読むことを楽しめるようにしていきたい。

第三次では、前単元で学習した「お話メモ」を使ったお話の作り方をもとに、単元を通して書き足してきた「がまくん・かえるくんマップ」を使いながら、自分だけの「がまくん・かえるくんシリーズ」を書いていく。子どもたちが自分の力で書き進めていけるよう十分な支援をすることで、作品の世界に浸り、楽しみながら書けるようにしたい。

## 3 目標

### (1) 国語への関心・意欲・態度

- 物語を楽しみながら読もうとする。

### (2) 読むこと的能力

- 場面や登場人物の様子がよく表れるように、読み方を工夫しながら読むことができる。

(読 ア)

- ◎ 登場人物の行動を手がかりに、場面や登場人物の様子について想像を広げながら読むことができる。

(読 ウ)

### (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 主語と述語の関係に注意して、読んだり書いたりすることができる。

(言イ【カ】)

## 4 指導計画

(「読むこと」12時間)

| 次 | 時     | 学 習 内 容   |
|---|-------|---|
| 一 | 1     | ・教材文を読み、初発の感想をもつこと。   |
|   | 2     | ・「がまくん・かえるくんマップ」の書き方を知り、全体の学習計画をつかむこと。<br>・新出漢字や言葉の学習をすること。 |
|   | 3     | ・設定を読み取りながらあらすじをとらえ、場面ごとの学習課題をもつこと。                         |
| 二 | 4     | ・二人が、悲しい気分で玄関の前に腰を下ろしている様子を読み取ること。                          |
|   | 5     | ・かえるくんが大急ぎで家へ帰り、手紙を書く様子を読み取ること。                             |
|   | (本時)  |   |
|   | 6     | ・ベッドで昼寝をするがまくんと、手紙を待つかえるくんの様子を読み取ること。                       |
|   | 7     | ・二人が、幸せな気持ちで玄関の前に座っている様子を読み取ること。                            |
|   | 8     | ・四日たって、手紙を受け取った二人の様子を読み取ること。                                |
| 三 | 9     | ・自分で作る「がまくん・かえるくんシリーズ」の「お話メモ」を書くこと。                         |
|   | 10・11 | ・「お話メモ」を基に、お話を書くこと。   |
|   | 12    | ・自分たちで作った「がまくん・かえるくんシリーズ」を読み合うこと。                           |

## 5 本時の指導

### (1) 目標

- ・ がまくんへ手紙を出すかえるくんの様子を読み取ることができる。

### (2) 展開

| 段階      | 学 習 活 動  | 指導上の留意点 (◇評価)  |
|---------|--|--|
| 導<br>入  | 1 前時までの学習を想起する。  | ・ 前時は、悲しい気分でがまくんの家の玄関の前に腰を下ろした二人の様子を読み取ったこと、かえるくんが突然帰ったことを想起させる。   |
| 5<br>分  | 2 本時の学習課題を把握する。<br>がまくんにお手紙を出すかえるくんのようすを読みとろう。   | ・ 本時は、家に帰ったかえるくんがどんな様子で何をしたか読み取り、「がまくん・かえるくんマップ」に書き込んでいくことを確認する。   |
| 展<br>開  | 3 学習課題を解決する。<br>(1)学習場面を音読する。<br><br>(2)かえるくんの行動を読み取る。<br><br>(3)かえるくんの様子について話し合う。<br><br>(4)話し合ったことをもとに、二の場面のかえるくんへ手紙を書く。 | ・ かえるくんの行動に着目して読むように意識づける。<br><br>・ 家に帰ったかえるくんがしたこと、アンダーラインを引き、順序に沿って読み取っていく。また、一の場面の「しなくちゃいけないこと」についても確認する。<br><br>・ かえるくんの様子がわかる言葉を書き抜き、その言葉をもとに、かえるくんの様子を想像する。様子については、動作で表現させたり、言葉(例え・音・見た目など)で表現させたりして、全体のイメージとして共有できるようにする。 |
| 33<br>分 | (5)書きまとめたことを発表する。  | ・ かえるくんの様子を入れて書くようにさせる。<br>◇がまくんへ手紙を出すかえるくんの様子を読み取ることができたか。(ノート、発言)  |
| 終<br>末  | 4 学習のまとめをする。   | ・ 本時の学習をもとに、「がまくん・かえるくんマップ」を書き込む。書けない児童には、書けそうな場所を示して、書き込みができるようにする。   |
| 7<br>分  | 5 次時の学習について見通しをもつ。   | ・ ベッドでお昼寝をするがまくんと、お手紙を待つかえるくんの思いを読み取っていくことを確認する。   |

